

イエスに会う: 癒しと希望  
2023年、5月、14日

序章: 癒しと希望

おはようございます。

テサロニケ人への手紙第一で、パウロは落胆し、幻滅し、失望した人々に向けて書きました。彼は彼らに次の言葉でお互いを励まし合うように言います:

“兄弟たちよ。眠っている人々については、無知でいてもらいたくない。望みを持たない外の人々のように、あなたがたが悲しむことのないためである。”

テサロニケ人への第一の手紙 4:13 口語訳

落胆や失望に対処するにはどうすればよいでしょうか？

私たちは悲しみますが、希望を持たない者のようにはしません。

私たちの希望はイエスです。そして私たちは常に彼に目を向けていなければなりません。

トランジション: これが、今日私たちがイエスに会うというシリーズを続ける理由です。今日のテキストは数週間前に選ばれたものです。そこに、イエスの愛と私たちへの配慮が分かります。今日は、イエスからの癒しと希望の両方を体験したマシュー・レヴィという男性についての物語を読んでいきます。そして、マタイに与えられる贈り物は、私たちに与えられるのと同じ贈り物、つまり癒しと希望です(聖書のルカ5章)。

### MVMT 1: レビの狂気の召命 (ルカ 5:27-28)

“そののち、イエスが出て行かれると、レビという名の取税人が取税所にすわっているのを見て、「わたしに従ってきなさい」と言われた。すると、彼はいっさいを捨てて立ちあがり、イエスに従ってきた。”

ルカによる福音書 5:27-28 口語訳

- この話は先週の直後に始まります。絶望的な友人をイエスの癒しの手が届けるために、十代の若者たちが屋根の瓦をはがしたときのことを覚えていますか？
- イエスは彼の罪を赦し、その後彼の体を癒しました。
- ルークがああ物語の直後にこの物語をアレンジしたのは偶然ではありません。
- この物語では、マシュー・レヴィとしても知られるレヴィが紹介されます。そう、あのマシューです。マタイによる福音書を書いた人。

- 彼の物語はイエスとの出会いから始まりますが、彼の人生の流れは劇的に変わります。
- 聖書を読んでいて、なぜ「徴税人」それ自体が(「罪人」という肩書以外でも)カテゴリーであることに気づいたことがあるなら、それは彼らが最悪中の最悪と考えられていたからです。
- 罪人もいましたし、徴税人もいました。

- 彼らはローマ人に売り渡された。自国民を強奪する者たち。IRS がイライラしていると思っているなら (IRS で働いているかもしれない皆さん、ごめんなさい。愛しています!) ローマの徴税人は別の人種でした。
- 彼らは、利益のためにローマの権力を利用して自国民をさらに征服したとして、徹底的に嫌われていました。
- 彼らは神とその民の敵とみなされました。
- 彼らは道徳的に破綻しているだけでなく、その行為によって彼らは常に儀式的に汚れていただろう。
- 彼らが分類されるカテゴリーは「行き過ぎ」です。
- そしてイエスがやって来て、すべてを台無しにします。

トランジション: レビはイエスの弟子ですか?

彼の他の弟子たちはどう反応するでしょうか?

これで彼の評判はどう傷つくでしょうか?

何がマシューを、イエスのために文字通りすべてから離れて歩むこの場所に導いたのでしょうか?

おそらく、立場にもかかわらず、心の奥底では解放されることを切望していたのだろう。癒されること、そしてこれが彼の人生における運命だけではないという希望を持つこと。

弟子たちは、私たちと同じように、イエスが人の行動から見えるものを超えて、人の心の場所を見ることができるところを学びます。

マシューの行動は同胞を傷つけましたが(そして彼はそれを償わなければなりません。罪には結果が伴います)、それでも彼の心の奥底では解放を求めて叫んでいました。

イエスは彼に、すべてを捨てて未知の世界へ彼に従って行くように命じました。

イエスは彼を弟子になるよう勧める

古いラベルやそれに付随するものはすべて捨てて、このホームレスの放浪ラビに加わりましょう。イエスはマタイを見て、まったく新しい人生に招待します。

そしてマシューは行きます。

29節

## MVMT 2: 奇妙な晩餐会 (ルカ 5:29-30)

“それから、レビは自分の家で、イエスのために盛大な宴会を催したが、取税人やそのほか大ぜいの人々が、共に食卓に着いていた。ところが、パリサイ人やその律法学者たちが、イエスの弟子たちに対してつぶやいて言った、「どうしてあなたがたは、取税人や罪人などと飲食を共にするのか。」”  
ルカによる福音書 5:29-30 口語訳

- マシューはパーティーを開きます。社会からのけ者にとっては奇妙なことだ。
- 他のゲストもマタイと同じように徴税人や罪人であることに注意してください。
- 友達もいなかったでしょうし、家族からも勘当されていたでしょう。もし彼らにコミュニティがあるとしたら、それは彼ら自身だけのものでしょう。

- マシューには手段とリソースがあります。
- 心の変化の兆候とは何ですか？
- マシューは自分のために生きることから、他者に奉仕するようになります。
- 彼は自分の地位と権力を他人に譲渡します。
- 彼はイエスに会うために人々を集めます。
  
- そしてパリサイ人です。
- ボーさんは先週、彼らについてたくさん話しました。
- 物語の悪役として考えるのは危険です。
- 警告するだけでなく、鏡としても機能するべきである。
- 彼らはイエスの恵みに腹を立てています。● 彼らは恵みではなく正義を望んでいます。
- マシューの手には血が付いています。
- もしこの男が本当に神から出た者であるならば、彼が本当にメシアであるならば、彼はマシューを滅ぼすだろう、彼を許さないだろう。
- 彼らが振り返って弟子たちにこのことを告げるのは興味深いことです。彼らはイエスに話しかけるのではなく、むしろイエスに従った弟子たちを恥じています。

トランジション: この物語には計り知れない緊張感があります。イエスは答えます... 31節

### **MVMT 3: イエスは傷ついた人々に癒しと希望をもたらします(ルカ 5:31-32)**

“イエスは答えて言われた、「健康な人には医者はいらない。いるのは病人である。わたしがきたのは、義人を招くためではなく、罪人を招いて悔い改めさせるためである。」”  
 ルカによる福音書 5:31-32 口語訳

- これは革命的な教えです。
- この物語の中で病人/罪人とは誰ですか？
  
- それはマシュー＝レヴィだけですか？他の徴税人たちは？罪人たち？
- 弟子たちは？
- 不平不満を言うパリサイ人と律法学者たち？
  
- 全部ですよ。
  
- 彼ら一人一人が偉大な医師を必要としています。それぞれが病気です。誰もが悔い改める必要のある罪人です。
  
- そして私たちもそうです。
  
- ここ数週間でこれについて取り上げてきましたが、罪は善の腐敗です。罪を犯すということは、その墮落の中に生きているということです。それは私たちにとっても、私たちの周囲の人たちにとっても破壊的です。それは欺瞞的で魅惑的であり、人間性を奪うものです。
  
- 罪には必ず結果が伴います。私たちの生活、そして私たちの周りの人々の中で。

- イエスは、自分がそう言ったからといって、私たちが罪を犯すのをやめるよう望んでいるわけではありません。神は私たちが目を背けることを望んでおられます。なぜなら、それは私たちと私たちの周りのすべての人たちを破壊するからです。

- 彼は私たち自身の利益のためではなく、私たちが任意のルールを守るためではありません。

- それは誰もが必要としている。

- しかしイエスはここで、応じない人もいるとはっきりと述べています。

- もしあなたがこの恵みを必要としていないと思うなら、あなたも彼が話している相手なのです。パリサイ人と律法学者はそれを理解しておらず、皮肉なことに、彼らは崇拝していると主張する神を完全に見逃しています。

トランジション: この一節は応答につながります。この物語の中で私たちは誰ですか? 私たちはイエスの恵みにどう応えるでしょうか? マシュー・レヴィのように、それともパリサイ人のように?

回答: 苦難の谷/希望の扉への反逆

マシュー=レヴィの物語は、私たちがイエスに対して抱く希望を明らかにしています。

良いニュースです。あなたの間違いがあなたを定義する必要はありません。

結果? はい。自分の罪の結果を旅することが、癒しと完全性への道となります。

さらに良いニュースを聞く準備はできていますか? 自分の間違いが自分を定義づけないだけでなく、自分の将来に希望を持っています。

マシュー:

マタイは3年間、イエスの弟子となる。

ある日、彼は自分の福音書を編纂することになりました。そしてこれを手に入れてください...これはヘブライ人への福音としてよく知られています。

かつてはヘブライ人を利用した徴税人でした。

現在はイエスの使者として、特にかつて傷つけた人々に向けて福音書を書いている。

これはマシューの物語のクレイジーな展開です!

Levi - 参加したという意味

マシュー - YHWH の贈り物。

イエスの恵みという根本的な賜物が、今やマタイの人生を決定づけています。

教会の歴史によれば、彼は福音をエチオピアに持ち帰り、最終的には信仰のために殉教したとのことです。

マシューの間違いや失敗は、マシューの物語の終わりではありませんでした。そして、あなたの間違いがあなたの物語の終わりである必要もありません。

ホセア書 2:14-15 あたりのフレーム応答時間

“それゆえ、見よ、わたしは彼女をいざなって、荒野に導いて行き、ねんごろに彼女に語ろう。その所でわたしは彼女にそのぶどう畑を与え、アコルの谷を望みの門として与える。その所で彼女は若かった日のように、エジプトの国からのぼって来た時のように、答えるであろう。”

ホセア書 2:14-15 口語訳

アコルの谷は恥ずべき場所でした。壊れた。この名前は、イスラエルの歴史の最も暗い部分の1つにちなんで名付けられました。それはイスラエルが罪と反逆に屈したときに何が起こったかについての警告の物語として記憶されるべきでした。

アコルとは文字通り「トラブル」を意味します

苦難の谷。かつてイスラエルの物語の最も暗い日を示した出来事は、神によって希望の扉に変えられるでしょう。

これはマシュー＝レヴィの人生における神の働きです。これはあなたの人生における神の働きです。これはこの教会の生活における神の働きです。

個人的な回答 -

どこに癒しが必要ですか？

どうして希望が必要なのでしょう？

人生における癒しと希望をどのように祝えばよいのでしょうか？

イエス様が希望の扉に変えることができる、あなたの悩みの谷は何ですか？

**B4-**

これがあなたの個人的な人生で起こり得るという証拠が必要な場合は、神が私たちの人生で何をしてくるか、つまりB4教会の人生を通してあなたを励まさせてください。何十年にもわたって、私たちは厳しい季節を経験してきましたが、イエスは常に私たちを見守ってくださいました。

困難の谷から希望の扉へ。

イエス様はあなたの話で終わりではありません。

彼は私たちのこともまだ終わっていません。

最高のものはまだ来ていない。